

3. 事業実施状況

(1) オンライン学習塾の町村拠点等、授業開講日

- ① 東村営あがいていだ塾・・・東村中央公民館+各家庭 08月1日 開講
- ② 波照間塾・・・・・・・・・・各家庭からの受講（8月1日-11月7日）
 - ・ 居宅介護事務所すむづれの家（11月8日-）
 - ・ 波照間保健センター（11月8日-）
- ③ 黒島塾・・・・・・・・・・各家庭からの受講
- ④ 本部町営塾・・・・・・・・・・本部町営ホール+各家庭 10月3日 開講

(2) 複数離島・過疎地で実施するための連携システムについて

- ① 東村、竹富町（波照間島・黒島）は、ZOOMのシステムを活用して、各塾及び各家庭を結んで、各学年一緒に授業を受講。

■東村

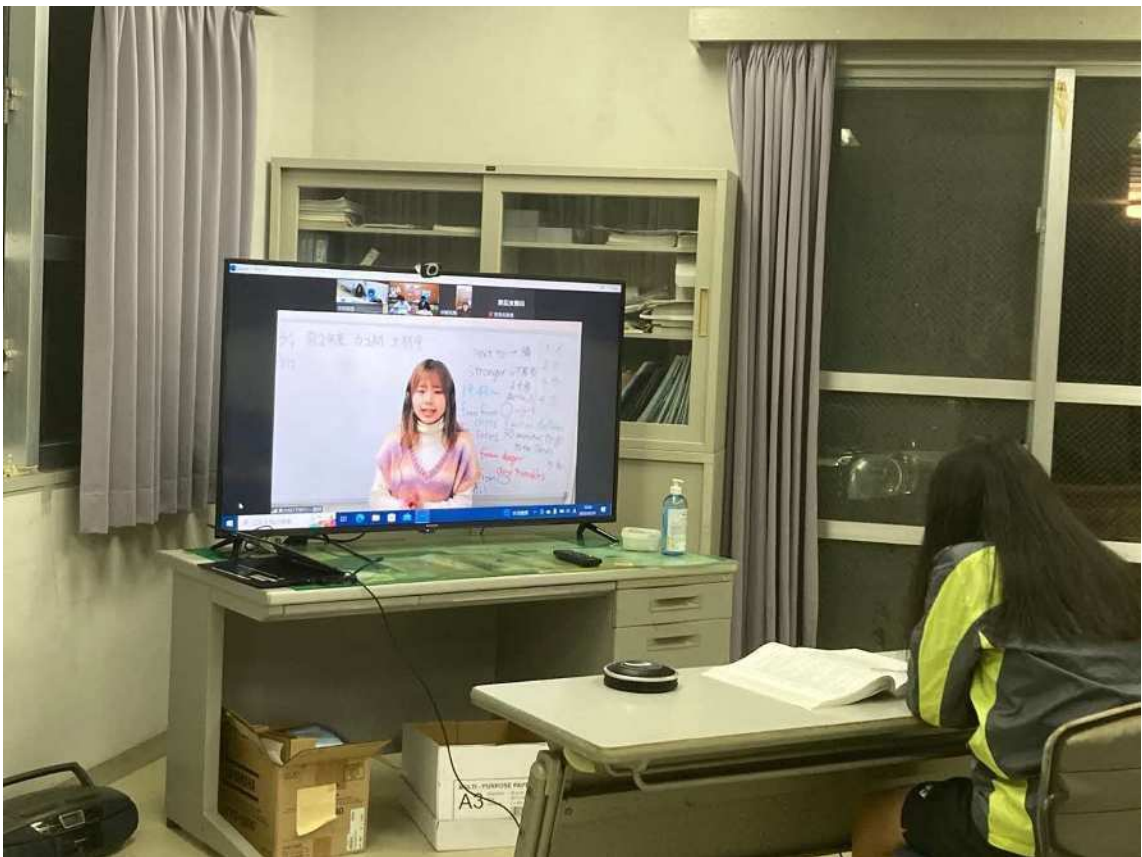






■波照間島





(2) 本部町営塾では、町営塾と各家庭を結んで受講。

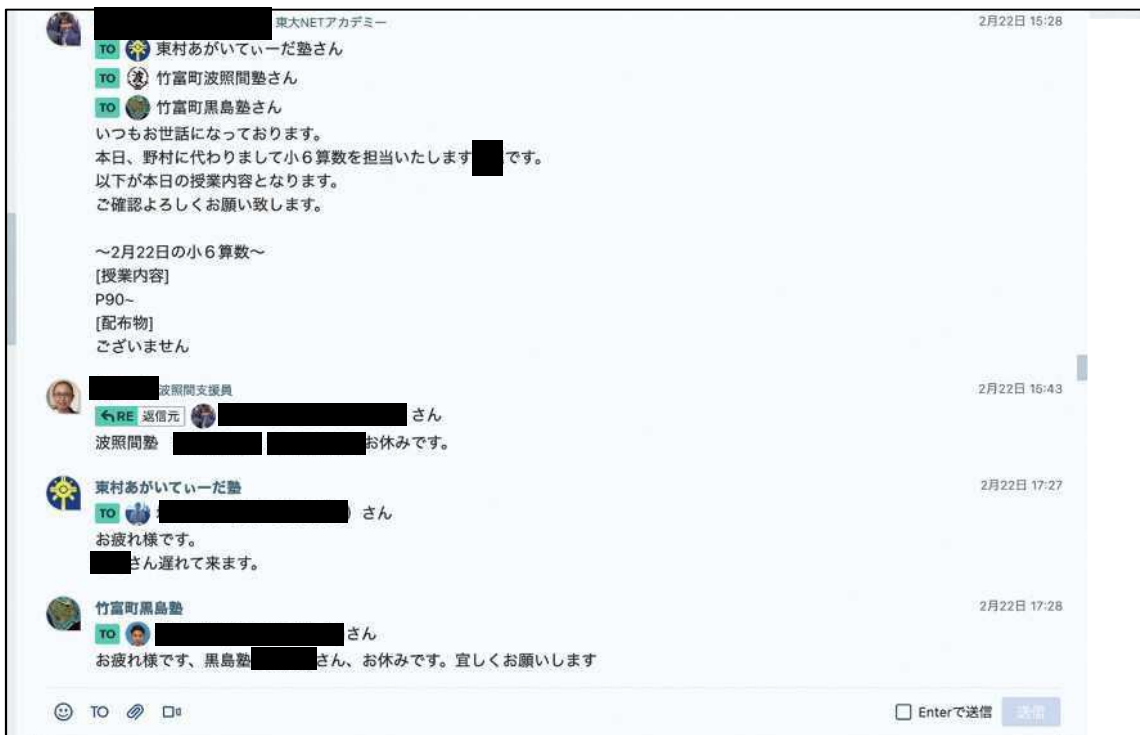
■本部町



- ③ 児童生徒授業管理・ファイル管理等は、Chatwork というコミュニケーションツールの活用。



■東村+波照間+黒島 講師連絡(例)



■本部町 講師連絡(例)

東大NETアカデミー 2月17日 16:41

TO 本部町さん

いつもお世話になっております。
小5算数担当の[]です。
以下、本日の授業内容です。

【内容】
・月例テスト解説

【配布物】
・採点済み月例テスト答案

どうぞよろしくお願い致します。

20230217本部町小5算数 [] 添削済み月例テスト.pdf (4.48 MB) プレビュー 16:41

20230217本部町小5算数 [] 添削済み月例テスト ([]) .pdf (1.47 MB) プレビュー 16:41

20230217本部町小5算数 [] 添削済み月例テスト ([]) .pdf (2.78 MB) プレビュー 16:41

本部町 2月17日 17:23

←RE 返信元 [] さん
確認しました。
[]

(3) オンライン学習塾及び各家庭からの受講者、インターネット、パソコン等の整備

- ① 東村村営あがいで塾、本部町営塾は、インターネット未整備のため。モバイルWi-Fi に対応。各家庭での受講者でインターネット未整備、パソコン未準備の家庭は、モバイルWi-Fi、iPad の無償貸与。
- ② 波照間塾はインターネット未整備で、モバイルWi-Fi に対応。各家庭から受講する受講者で、インターネット、パソコン未整備の家庭には、モバイルWi-Fi、iPad の無償貸与して、授業を実施しました。

(4) カリキュラムと時間割

■東村・波照間島・黒島

小学5年生、6年生：国語、算数

中学1年生、2年生：数学、英語

中学3年生、 ：数学、英語、国語

(各科目週1回、授業時間：60分の授業を実施しました。)

(12月から受験対策講座として中学3年生は90分授業に変更)

■本部町

小学5年生、6年生：国語、算数

(開講日が10月3日と遅れたため各科目週1回、授業時間：90分授業を実施しました。)

<沖縄県立高校受験対策講座について>

中学3年生は、習熟度別クラス編成をし、12月から、沖縄県立高校入試過去問題集を中心に、受験対策講座を実施。

(各科目、週1回。授業時間を90分として実施をしました)。

過去10年間分析したデータをもとに作成したプリントを活用しながら、授業を実施。

以下は数学の例。

出題傾向・数学

▷平均点の推移

	H27	H28	H29	H30	H31	R2	R3
平均点	30.5	26.3	29.4	31.6	28.9	33.5	29.9

- ☆大問1,2のみで24点/60点も取れる！この対策が急務・・・東大ネットアカデミーは**独自のプリント**を用意。対策は万全。
- ☆各大問は難しそうに見えても**最初の問題は簡単**。手をつけるべし。
- ☆作図問題はコツをつかむ必要あり。一度時間をとって対策しよう。
- ☆設問数が毎年40前後のため、**スピード勝負**になる。

数学は
スピードが命！！

独自の取り組み～数学編～

中3数学：入試対策用プリント No.28

名前 _____ 点数 /10

1 次の計算をせよ。

(1) $4x^2 + 3x - 5$
 (2) $2x^2 + 5x - 3$
 (3) $3x^2 - 2x + 1$
 (4) $5x^2 - 3x + 7$

2 次の に最も適する記号、数または式を入れなさい。

(1) 12 と 54 の最大公約数は である。

(2) 弟の貯金が $1,500$ 円、兄は弟より 20% 多く貯金したとき、兄の貯金は 円である。

(3) 連立方程式 $\begin{cases} y = x - 3 \\ 3x - 2y = 8 \end{cases}$ の解は、 $x = \text{input}$ 、 $y = \text{input}$ である。

(4) 1次方程式 $-3x + a = 2x + 17$ の解が $x = -2$ であるとき、 $a = \text{input}$ である。

(5) $4a^2 - 49$ を因数分解すると である。

(6) $\sqrt{3n}$ の値が自然数となるような、 100 以下の自然数 n は 個ある。(やや難)

東大NETアカデミー

・数学は計算問題が中心だが、演習量の不足から計算が遅かったり解き方のコツをつかめなかったりするケースが多い

→過去10年分の過去問分析から、独自のプリントを作成。演習量の増加&問題への慣れを同時に実現。

・さらにしっかり添削を行うことで生徒のやる気も増加。

→小問集合での得点増加をはかれる

中3数学：入試対策用プリント No.14

名前 _____ 点数 /10

1 次の計算をせよ。

(1) $a \times (-3a)^2$
 (2) $5 + 15 \div (-5)$
 (3) $3(x^2 - x + 2) - 2(x^2 + 4x - 1)$
 (4) $\frac{1}{2} + \frac{1}{3}$

2 次の に最も適する記号、数または式を入れなさい。

(1) 24 と 54 の最大公約数は である。

(2) 兄弟2人が貯金をしました。弟は $1,500$ 円で、兄は弟より 20% 多く貯金したとき、兄の貯金は 円である。

(3) 連立方程式 $\begin{cases} y = x - 3 \\ 3x - 2y = 8 \end{cases}$ の解は、 $x = \text{input}$ 、 $y = \text{input}$ である。

(4) 1次方程式 $-3x + a = 2x + 17$ の解が $x = -2$ であるとき、 $a = \text{input}$ である。

(5) $4a^2 - 49$ を因数分解すると である。

(6) $\sqrt{3n}$ の値が自然数となるような、 100 以下の自然数 n は 個ある。(やや難)

東大NETアカデミー

●東村立あがいていーだ塾、竹富町（波照間塾、黒島塾）：カリキュラムと時間割。

R4年度離島・過疎地域づくりDX促進事業（東村・波照間・黒島）時間割

9月から		月		火		水		金		土	
夏(8月中)	教室	A教室	B教室	A教室	B教室	A教室	B教室	A教室	B教室	A教室	B教室
17:00-18:00	前半 17:30～ 18:30	小6国語 松本先生				小5算数 錦織先生	小6算数 松本先生			小5国語 坂本先生	
18:15-19:15	後半 18:45～ 19:45	中3数学B 高橋先生	中3数学A 児玉一希先生	中1数学 錦織先生	中2数学 中尾先生	中3英語B 錦織先生	中3英語A 坂本先生	中1英語 野村先生		中2英語 坂本先生	中3国語 笹川先生

※中3 数英は新学期よりレベル別のクラス分けを予定

●本部町営塾：カリキュラムと時間割

R4年度離島・過疎地域づくりDX促進事業（本部町）時間割

曜日	月		火		水		金	
教室	A	B	A	B	A	B	A	B
17:30-19:00	小6国語A	小6国語B	小5国語A	小5国語B	小6算数A	小6算数B	小5算数A	小5算数B
講師名	若尾和哉	若尾和哉	大熊光汰	大熊光汰	菊池愛麗	菊池愛麗	大島一武輝	大島一武輝

(5)参加申込人数

	東村	竹富町		本部町	合計
		波照間島	黒島		
小5	6	0	0	10	16
小6	6	2	3	6	17
中1	2	1	0	/	3
中2	9	4	2		15
中3	7	8	1		16
合計	30	15	6	16	67

<家庭からの受講者>

黒島 6名

本部町 6名

(6) 講師派遣及び現地交流会

学習意欲の向上等を図るため、2名の東大生講師を派遣し、対面授業と交流会を実施しました。

なお、本部町営塾では、伊豆味小中学校と上本部学園において、ミニ講話を実施しました。

① 10月22日～24日：東村営あがいていーだ塾

東村あがいていーだ塾講師派遣スケジュール

1, 講師派遣 日程：2泊3日

(1) 10月22日(土)。23日(日)。24日(月)

2, 東大NETアカデミー

(1) 講師：■■■■■、■■■■■

(2) スタッフ：■■■■■、他1名

<スケジュール>

<10月22日(土)>

08:30 ANA467羽田空港発⇒11:15 那覇空港着

13:30 東村あがりていーだ塾着

13:30 教育委員会、補助員とのスタッフミーティング

15:00~16:00 算数(小学5、6年)対面授業 中央公民館

16:30~17:30 数学(中学1、2年)対面授業 中央公民館

18:00 交流BBQ 20:00迄 つつじエコパークイベント広場

※交流BBQは小5~中3の東村あがいていーだ塾受講者及び保護者1名迄

<10月23日(日)>中学3年生のみ

09:00 PA体験 つつじエコパークPA施設

12:00 昼食(弁当持参)

13:00~14:00 数学(中学3年)対面授業 中央公民館

14:15~15:15 国語(中学3年)対面授業 中央公民館

15:30~16:30 英語(中学3年)対面授業 中央公民館

17:00~18:00 親・子・講師。懇談会

<10月24日(月)>

09:00~09:30 東村役場・教育委員会表敬訪問「

10:00~11:00 東村小・中学校 表敬訪問

移動⇒

18:00 那覇空港

=東村村民の森つつじエコパーク 2泊=

10月22日(土)～10月24日(月)に、TNA講師の■■■■・■■■■の2名で東村の講師派遣を行いました。以下、行程に沿って簡単に所感を述べさせていただきます。

22日午前にな覇空港に到着後、東村に移動し、東村の公民館にて、東村あがいていーだ塾の皆様・受講生と合流しました。講師派遣を待ち望んでくれていた生徒もいたようで、大勢の生徒が私たちのことを出迎えてくれました。

その後、小5・6算数クラスと中1・2の数学クラスの授業を1時間程度行いました。普段はテキストをベースに授業を設計しておりますが、今回は生徒の「楽しい!」という感情をより引き出せるよう、小学生のクラスでは算数パズル、中学生のクラスでは、円周率にまつわる問題を扱いました(東大の過去問を易化させた、 $\pi > 3$ となることの証明みんなで考えるというもの)。

普段のオンライン授業でも意欲的な生徒が多く見受けられる東村ですが、それと比べてもいつも以上に熱心に問題に取り組んでくれてるのが伝わり、こちらとしても嬉しい限りでした。また、普段の授業中あまりやる気がない子だと捉えてしまっていた生徒についても、実際に対面で教えてみると、ただ基礎基本の部分で躓いてしまっているだけで、本人のレベルに合わせて解説をすれば授業内容について理解可能なこと、話を聞く姿勢はしっかりと備わっていることなどがわかり、今後の授業の参考にもなる非常に有意義な時間となりました。

その他にも、中学生の授業で扱った内容は若干難易度が高かったものの、講師側が想定していた解法とは違うものを考えつく子もいて、思考の鋭さに驚かされました。会社の理念をいつも以上に意識する瞬間でした。

〈受講生との対面授業の様子〉



授業終了後は関係者の皆様・保護者の皆様も交えた生徒たちとのBBQ交流会を行っていただきました。最初の緊張も解れ、生徒達が想像以上に講師の2人に懐いてくれて講師の2人は引っ張りだこでした。いろいろな学年の子達と絶えず交流をすることができ、非常に嬉

しく思っています。生徒達の話も聞いた一方で、講師側からも将来や専門についてお話しする機会もあり、生徒達の視野を広げる一助になっていれば幸に思います。

〈BBQ 交流会の様子〉



2日日も晴天で、刺すような日差しでした。午前中は Projected Adventure (以下 PA) というものを体験しました。東村には PA の立派な施設があるとのことでした。簡単に言えば PA は参加者同士が協力し合いながら目的を達成するアクティビティです。ワイヤーの綱渡り、プレート使ったパズルに加えて、地上 10M 位の丸太の上から背中側に倒れ込み、他の参加者に命綱を引いてもらうというかなりスリリングなアクティビティもありました。丸太の上から見る沖縄の海は最高でしたが、恐怖心のあまり足がすくんでしまいました。生徒たちと協力(例えば、手をつないだり、意見を出し合ったり、命綱を預けたり!)するので、ここでさらに仲良くなれたような気がしています。関係構築に重要な信頼関係を得ることができたように思います。

〈PA 体験の様子〉



そして、2日目午後は中3対象の授業でした。受験を意識した授業にするため、テキストベースの比較的オーソドックスな授業を行いました。基礎の徹底を意識して、一人ひとりの進捗を確かめながら授業を展開することができたように思います。また、中3の生徒が頑張

っていたことはもちろん、意欲的な2年生と一緒に参加してくれて、授業を面白いと言ってくれていたことも印象に残っております。講師の個人的な意見としては、勉強を少しでも好きになってもらうということを掲げて日々の授業をしているので、そのような光景を直接見ることができ幸甚に思いました。

〈中3生への対面授業への様子〉



授業後には東村の教育委員会の方々に美味しい沖縄料理を食べさせていただきました。食べていない料理はないのではないかと思います。たくさんの料理を、詳細な解説付きでもてなしていただき、普段あまり触れることのない人の温かさを改めて感じることができました。教育委員会の方の人柄はもちろんですが、地域性みたいなものも感じられました。高校に合格すると山羊汁を飲むというのは、東京育ちが想像するようなそれっぽいエピソードでした。地域の人々が繋がっていることが、あふれる温かさの源泉になっているのかも、などと考えておりました。

3日目は朝から東小中学校にお邪魔させていただき、登校する生徒たちと少しお話をした後、各小学校や町役場に表敬訪問をさせていただきました。東村役場では東村長と面会させていただくことができ、地方自治体のトップの方とお話できるなんて、と改めてものすごい経験をさせてもらったのだと感じております。その後、各学校の校長先生や役場の関係者の方々とお話をさせていただいたり、生徒達の学校での様子も少し拝見させていただいたりしました。また、都会で生活しているはおそらく経験することのない複式学級を目の前にし、普段オンラインで顔を合わせている生徒達の普段の生活の解像度が一段と上がり、今後の関わりの中でできる限り参考にしていきたいと思いました。

また、最後に別拠点の本部町役場にも表敬訪問をさせていただき、教育長などの重役の皆様

様と今後の授業の一助となるようなやりとりをすることができました。

以上、拙い文章ではありますが、東村講師派遣の報告文とさせていただきます。本当にたくさんの方の経験をさせていただき、ありがとうございました。

了。

＝■■■■先生の報告＝

今回 10/22～24 に■■■■先生と東村の講師派遣に行きまして。

那覇の空港に到着するとそこは夏でした。慌てて日焼け止めを買ったほどです。車で1時間半くらいの距離でしたでしょうか、汗ばみながら本島北東部の東村に行くと、教室のある公民館の前で大勢の生徒が出迎えてくれました。一人の生徒が■■■■先生を見るやいなや「本物だ！」と言っておりました。生徒たちの目はスターを見るような輝きを放っていました。

その後、小5、6算数クラスと中1、2の数学クラスの授業がありました。いつものテキストを中心とした設計とは異なり、算数パズルや円周率の問題を扱いました。生徒たちがいつも以上に熱心に問題に取り組んでいるのが伝わってきましたし、講師側としても各生徒の進捗がわかるのは、有意義でした。■■■■先生がいつもやる気がないと思っていた生徒が、ただの理解不足だとわかったと言っていたことがそれを示しているように思います。

私は円周率の授業をしましたが、想定していなかった別解が飛んできて、動揺するとともに思考の鋭さに驚かされました。会社の理念をいつも以上に意識する瞬間でした。

授業終了後は生徒たちとの BBQ 交流会でした。■■■■先生は生徒から引っ張りだこで、忙しそうでした。私も時間が経つに連れて、生徒たちと仲良くすることができました。最初はどうなることかと思いましたが笑 たくさん写真を撮ったり、話をしたことが今も思い出されます。少しだけした将来の話が、生徒たちの将来を考えるきっかけになったらいいなと思っています。

2日目も晴天で、刺すような日差しでした。午前中は Projected Adventure (以下 PA) というものを体験しました。東村には PA の立派な施設があるとのことでした。簡単に説明すると PA は参加者同士が協力し合いながら目的を達成するアクティビティです。ワイヤーの綱渡り、プレートを使ったパズル、上空 10M 位の丸太の上から背中側に落下し、他の参加者に命綱を引いてもらうなんていうものまでありました。丸太の上から見る海は最高の景色でしたが、結構怖いです。生徒たちと協力(例えば、手をつないだり、意見を出し合ったり、命綱を預けたり!)するので、ここでさらに仲良くなれたような気がします。当たり前ですけど、信頼は関係構築に大事ですもんね。

午後は中3への授業でした。受験も近づいているのでテキストベースのオーソドックスな授業をしました。中3も頑張っていたことはもちろん、意欲的な2年生が参加して、数学を面白がっていたのがうれしかったです。個人的に勉強を少しでも好きになってもらうということを掲げて日々の授業をしているので、目的達成の瞬間をこの目で見られたのは最高でした。

3日目は朝から中学校にお邪魔させていただき、生徒たちと少しお話をした後、表敬訪問をして回りました。東村役場では村長と面会させていただきました。地方自治体のトップとお話できるなんて今考えても信じられませんが、名刺だけは確かに机の上にあります。ダンディな方でした。東村の小中学校にも表敬訪問をさせていただき、校長先生と少しお話をしたり、授業を見学させていただきました。存在だけは知っていた複式学級が目の前にありました。その後古宇利島や美ら海水族館等で観光をして(海がきれいすぎる!)最近授業が始まった本部町役場にも表敬訪問させていただきました。

了。

② 12月9日～11日：本部町

11月9日

本部町営塾講師派遣スケジュール

1、講師派遣 日程：2泊3日

(1) 12月9日(金)、12月10日(土)、12月11日(日)

2、東大NETアカデミー

(1) 講師：[REDACTED]
(2) スタッフ：松川洋明

<スケジュール>

(1) 12月9日(金)

①那覇空港着：09:45

②本部町教育委員会 12:30:

③「ミニ講話」:13:00~16:30 (伊豆味小:13:50。上本部小:14:40)

④交流会:17:30~19:30

町営ホール

本部町営塾受講者及び保護者並びに交流会参加希望者。

(2) 12月10日(土)

①国語:09:00~10:30 (小学5年生)対面授業

町営ホール

②算数:10:45~12:15 (小学5年生)対面授業

町営ホール

12:15~13:30 昼食

③国語:13:30~15:00 (小学6年生)対面授業

町営ホール

④算数:15:15~16:45 (小学6年生)対面授業

町営ホール

(3) 12月11日(日)

①親子・講師、個別相談会:10:00~12:00

町営ホール

令和4年12月 東大NETアカデミー

2022 年度 本部町講師派遣 報告書

2022 年 12 月 13 日

東大 NET アカデミー講師

以下、2022 年 12 月 9 日(金)～11 日(日)に実施された本部町講師派遣について、報告いたします。

12 月 9 日 (金)

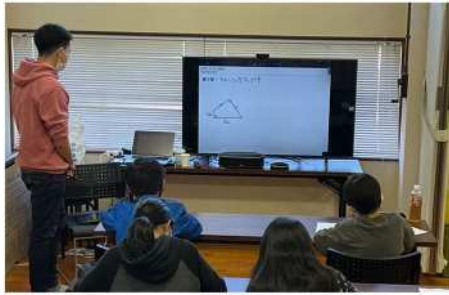
初日は、本部町立上本部学園の小学 5・6 年生(約 70 名)を対象に講話を行いました。「勉強は RPG だ」をテーマに、私がこれまでどういったモチベーションでどんな勉強をしてきたのか、なぜ大学に行くのか、などについてお話ししました。その後、児童の皆さんからの質問にお答えしました。勉強法に関する質問が多かったことが印象的だったのですが、時間の制約上、部分的なアドバイスに留まってしまったことが悔やまれるところです。

その後、町営ホールに移動し、普段オンラインで授業をしている子どもたちや保護者の方々とともに交流会を行いました。最初は緊張して我々との間合いをはかっていた子どもたちも次第に打ち解けていき、一緒に沖縄そばを食べたり、鬼ごっこをして遊んだりするなど、対面ならではのとても充実した時間を過ごすことができました。



12 月 10 日 (土)

2 日目は、町営ホールにて特別授業を行いました。私が中学受験対策として解いていた問題や灘中学校の入試問題、東大の入試問題など、自分がこれまで実際に解いてきた問題の中から小学生の知識でも解けるユニークな問題をピックアップし、挑戦してもらおうという授業内容だったのですが、皆、非常に積極的かつ楽しそうに問題に取り組んでくれていました。「作問者のアイデアが光る真に優れた問題は解くだけで楽しい」ということ、そして「基本的な知識であっても、しっかり吸収して使いこなすことができれば、ハイレベルな問題でも十分に通用する」ということを体感してもらえたかと思えます。



12月11日(日)

最終日は、希望者を対象に個別相談会を実施しました。中学受験に挑戦したい小学5年生の児童とお父様がいらっしゃったので、高橋先生とともに過去の模試の結果を見つつ、我々の経験から今後の学習方針についてアドバイスをし、今後も“最強の助っ人”として東大生講師をうまく活用して行ってほしいとお伝えしました。



さいごに

短い期間ではありましたが、本部町の子どもたちの活発さと知的好奇心の旺盛さに圧倒されたと同時に、我々が子どもたちにできることの重要性和可能性を改めて実感した3日間となりました。この場を借りて、このような貴重な機会を用意してくださった本部町の皆様に感謝申し上げます。本当にありがとうございました。



本部町講師派遣 報告書

2022年12月13日

東大 NET アカデミー講師

2022年12月9日から11日にかけて、本部町へ講師派遣に伺いました。

9日は、教育委員会へご挨拶したのち、伊豆味小学校でミニ講話を行いました。

生徒たちの好奇心と向上心に大いに驚かされました。「大学の専門分野についてもっと教えてほしい」や「ゼミとはどのようなものなのか」などの質問に対しては、思わず熱を入れて語ってしまいました。また、「算数を好きになるにはどうすればいいのか」や「美術を勉強するにはどうすればいいのか」のような質問に対しては、自分の経験を踏まえつつ、将来への希望を持てるよう現実的なアドバイスをしました。あまりに多くの質問があり、最後には時間のため打ち切りにしなければいけないほどでした。

それから、いつも東大 NET アカデミーの授業の教室になっている町営ホールで、いつも授業を受けている生徒と保護者の方々と交流会を行いました。生徒が集まるテーブルでは「先生の彼女」や「大学の生活」に関する話が盛り上がる傍ら、保護者が集まるテーブルでは「小学校の頃の勉強法」や「ゲームなどの誘惑から守る方法」に関する話が繰り広げられました。小学生との鬼ごっこにも積極的に参加し、二人とも息を切らしながら、一体どこからその底知れぬエネルギーが湧き出ているのか思いを馳せました。



12日には個別相談会を行いました。新しく開校する名護高校の付設中学校を目標としている生徒と保護者が相談に来ました。開邦高校の卒業生として、開邦中学校にまつわる経験談をお話して、モチベーションを高めることができたのではないかと思います。

短いあいだでしたが、対面での授業・相談・交流を時間いっぱい行うことができました。伝えなかったこと以上のことを吸収してもらい、生徒からも予想外の学びが多くあった講師派遣でした。この講師派遣をモチベーションとして、また日頃の勉学や学校生活に励んでいただければと思います。補助員さん、教育委員会の方々に感謝を申し上げます。

③ 1月13日～15日：波照間塾・黒島島塾

1月6日

令和4年度離島・過疎地域づくりDX促進事業
(オンライン学習塾支援事業)

波照間塾・黒島塾講師派遣講師派遣について

1, 日程：2泊3日

(1) 1月13日(金)。14日(土)。15日(日)

2, 目的地

(1) 竹富町教育委員会表敬

(2) 波照間塾

(3) 黒島塾

3, 派遣講師：

4, 同行スタッフ：

<スケジュール>

<1月13日(金)>

08:10 羽田空港発 ⇒ 11:45 石垣空港着(ANA)

13:30 竹富町教育委員会表敬(仮)

14:30 石垣港出発⇒波照間へ

16:00 波照間港着

16:15 波照間小中学校表敬訪問

対面授業・・・場所：「竹富町波照間出張所」、「居宅介護事業所すむづれの家」

教室 A

教室 B

17:00～18:00 小学6年生-2名(坂本先生)

中学1年生-1名()

18:30～19:30 中学2年生-4名(坂本先生)

18:30～20:00

中学3年生-7名()

20:00～21:00 交流会

= 1 =

< 1月14日(土) >

09:50 波照間港出発⇒石垣港へ

11:30 石垣港着

13:00 石垣港⇄黒島発

13:30 石垣港⇄黒島港着

.....

対面授業・・・場所：黒島小中学校

教室 A

教室 B

16:00~17:00 小学6年生-2名 ()

17:30~18:30 中学2年生-2名 ()

17:30~19:00 中学3年生-1名 ()

19:00~20:00 交流会

.....

< 1月15日(日) >

09:25 黒島港発。

09:55 石垣港着

※石垣空港⇒羽田空港()

15:40 羽田空港発 ⇒ 18:10 石垣空港着(ANA)

< 1月16日(月) >

※石垣空港⇒羽田空港()

19:30 羽田空港発 ⇒ 22:00 石垣空港着(JAL)

■ 報告書 ■

令和4年度 沖縄県離島・過疎地域づくり DX 促進事業
波照間・黒島講師派遣 報告書
2023/01/20

1月13日（金）～1月15日（日）にかけて、波照間・黒島への講師派遣を実施し、東大ネットアカデミー講師の■■■■・■■■■の2名が参加しました。拠点ごとに、それぞれで行った授業内容や生徒の雰囲気、感想、今後の課題について、下記の通りご報告いたします。

【波照間塾】

1月13日、「竹富町波照間出張所、居宅介護事業所すむづれの家」をお借りして、対面授業を実施しました。以下が、授業内容や当日の雰囲気、今後の課題となります。

〈授業内容〉

小6 算数…クイズ形式の問題やひらめき問題等の柔軟な発想力を要する問題を扱うことで、算数の面白さ・奥深さに触れてもらいました。それと同時に、一つ一つの問題にある程度の時間をかけてじっくり取り組むことを意識するよう促しました。

中1 数学…図形や計算などを絡めた数学クイズを扱いました（算数オリンピック等の過去問を含む）。普段のテキストベースの授業とはテイストを変え、頭を捻って考えることで、少しでも楽しさを見出してもらえることを狙いとしました。

中2 数学…柔軟な発想力を要する小学生レベルの問題や中学生の履修範囲で解ける高校生レベルの問題を扱いました。普段のテキスト中心の授業では扱わないような面白い問題に触れてもらうことで、数学を勉強することの楽しさを実感してもらうことを意識しました。

中3 英語…英語を使ったなぞなぞや数学の問題、ことわざクイズなどを扱ったゲームをしました。問題文を文法的に解説する時間も取り、普段以上に「楽しみながら学ぶ」ことを意識した授業を行いました。

授業中の様子



〈生徒の雰囲気〉

どの学年も比較のおとなしい印象ではありますが、目の前の問題に真剣に取り組んでくれている様子が伝わりました。また、普段のオンラインでの授業とは異なり、直接密なコミュニケーションを図ることによって、生徒一人ひとりの特徴を掴み、真摯に向き合うことができたため、信頼関係の構築にも寄与したのではないかと思います。生徒の方からも、通常の授業よりも気さくに話しかけてくれていたように感じます。

〈交流会の雰囲気〉

授業後に、生徒の保護者様も交えた交流会を実施しました。受験へのアドバイスや、大学生活についての質問を中心に、生徒や保護者の方々からの質問に答える時間を設けていたのですが、生徒自身の好きなことや将来の目標についてもお話してもらい時間も取ることができ、保護者の皆様の経験も交えて、全体で交流を図った形となり、生徒にとっても非常に有意義なものになったのではないかと考えています。

〈今後の課題〉

通常の授業は、東村・波照間・黒島の3拠点からの参加があり、集団で受講している拠点とのやりとりが目立ってしまうという課題があります。また、生徒側のカメラがオフであることで講師側からコンタクトを取るハードルも上がってしまうことも事実です。今後は、一層コミュニケーション機会を均等にするすることで、授業に参加する際の心理的ハードルを下げることが喫緊の課題となります。また、可能な限り生徒側のカメラをオンにすることも周知していきたいと思います。

また、授業のレベルが簡単すぎることでモチベーション維持が難しくなっている生徒がいたため、そちらについても個別での対応を進めていきます。

当日の様子



【黒島塾】

1月14日、黒島小中学校において、対面授業を実施しました。以下が授業内容や当日の雰囲気、今後の課題となります。

〈授業内容〉

小6 算数…算数オリンピックの過去問等を題材として、面白い算数の問題に触れてもらいました。生徒間での対戦形式で問題を解いてもらったり、みんなで協力しながら解いてもらったりすることで、楽しみながら問題を解くことの重要性を実感してもらうことを狙いとしていました。

中2 数学…小学生用の算数のひらめき問題や難易度高めの証明問題等を扱いました。見たことのないような問題でも自分の知識を上手く使えば解けるといふ、数学の本質的な面白さを実感してもらいました。

中3 英語…英語を使ったなぞなぞや数学の問題、ことわざクイズなどを扱ったゲームをしました。問題文を文法的に解説する時間も取り、普段以上に「楽しみながら学ぶ」ことを意識した授業を行いました。

授業中の様子



〈生徒の雰囲気〉

黒島塾の生徒も、訪問前は比較のおとなしい生徒が多い印象でしたが、普段のテキストの問題とは異なったひらめき問題などを前に、一生懸命問題に取り組んでくれている様子が伝わりました。こちらも、普段のオンライン授業ではカメラオフで参加されている生徒も多く、双方向のやりとりが難しい場合もあったので、普段よりもはるかに親密なコミュニケーションを取ることができました。生徒一人ひとりの特性や得意不得意を掴むための貴重な時間となりました。

〈交流会の雰囲気〉

波照間塾と同様、授業後は保護者並びに地域の皆様も交えて交流会を行いました。こちらも受験の経験や大学生活、進路についての質問が飛び交っていましたが、保護者の皆様からの教育方針についての質問も散見され、生徒達にとっては少し緊張感のある時間となったかもしれません。対象学年ではない子も参加してくださり、地域全体として迎え入れてくださっていることを実感しました。

〈今後の課題〉

こちらも、集団で受講している他拠点と異なり、生徒がそれぞれ自宅受講をしていることで授業参加のハードルが上がってしまっているという課題があります。講師側が積極的にコミュニケーションを取り、授業中の心理的安全性を確保していく必要があります。

インターネットの接続が不安定になるという理由でカメラをオフにしている生徒もいたため、対策は難しいですが、講師側としても極力ビデオを付けてもらえるとコミュニケーション機会を作りやすいのではないかと思います。

また、支援員さんから、配布物がある場合は当日15時頃までに送付するようご要望をいただいたため、そちらは担当講師への周知を行います。

当日の様子



どちらの拠点も、支援員の皆様をはじめ、生徒、地域・保護者の皆様が、非常に温かい雰囲気でお迎え入れてくださいました。本当に感謝しています。生徒との交流という貴重な経験をさせていただいた一方で、離島の教育機会の少なさなど、現場を見ることで改めて認識できた教育課題も多くあり、一大学生ではありますが、私たち講師ができることやその意義を改めて考えさせられる時間となりました。今後は通常通りのオンライン授業となりますが、この経験を生かした授業を展開できるよう、精進して参ります。簡単にはなりませんが、以上をもって波照間・黒島の講師派遣の報告文とさせていただきます。本当にありがとうございました。